

補助事業番号 22-1-110

補助事業名 平成22年度 日本オリンピック委員会が行うスポーツ競技力の向上補助事業

補助事業者名 財団法人 日本オリンピック委員会

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

オリンピック憲章に基づく国内オリンピック委員会として、オリンピックの理念に則り、オリンピックムーブメントを推進する。またオリンピック競技大会等国際総合競技大会に選手団を派遣することにより、スポーツを通じて国際友好親善に図るとともに、我が国スポーツ選手の育成強化を図り、もって公益の増進に寄与することを目的とする。

(2) 実施内容

スポーツを通じた国際平和に寄与するオリンピックムーブメントの推進並びに、スポーツ選手の育成強化を図るという目的を達成するため広報出版情報事業、第16回アジア競技大会選手団派遣事業、第7回アジア冬季競技大会選手団派遣事業、第25回ユニバーシアード冬季競技大会選手団派遣事業、第1回ユースオリンピック競技大会選手団派遣事業、オリンピックデー記念事業、オリンピックムーブメント推進ツール制作事業を展開した。

ア. 広報出版情報事業

ホームページを広報ツールのメインと位置付け、毎週、内容を更新、オリンピックムーブメント、選手強化事業、オリンピック競技大会招致活動、スポーツと環境保全活動等に対する本会の取り組みを紹介するとともに、2010年11月に中国／広州で開催された第16回アジア競技大会、2011年1月から2月にカザフスタン／アスタナ・アルマティで開催された第7回アジア冬季競技大会、2011年1月から2月にトルコ／エルズルムで開催された第25回ユニバーシアード冬季競技大会、及び2010年8月にシンガポールで開催された第1回ユースオリンピック競技大会に派遣した日本代表選手団の成績等に関する情報、各種国際総合競技大会に関する情報の提供を行う等広報活動を展開した。

イ. 第16回アジア競技大会選手団派遣事業

平成22年 11月12日 ～ 11月27日 中国／広州

市原則之団長以下1,078名を派遣。実施42競技に参加、金48、銀74、銅94の計216個のメダルを獲得した。



ウ. 第7回アジア冬季競技大会選手団派遣事業

平成23年 1月30日 ～ 2月6日 カザフスタン／アスタナ・アルマティ

橋本聖子団長以下168名を派遣。実施4競技に参加、金13、銀24、銅17の計54個のメダルを獲得した。



エ. 第25回ユニバーシアード冬季競技大会選手団派遣事業

平成23年 1月27日 ～ 2月6日 トルコ／エルズルム

鈴木恵一団長以下127名を派遣。実施4競技に参加、金4、銀3、銅の計10個のメダルを獲得した。



オ. 第1回ユースオリンピック競技大会選手団派遣事業

平成22年 8月12日 ～ 8月26日 シンガポール

竹田恆和団長以下105名を派遣。実施16競技に参加、金9、銀5、銅3の計17個のメダルを獲得した。





カ. オリンピックデー記念事業

近代オリンピックの復興とその主催者である国際オリンピック委員会（IOC）の創設が決議された1894年6月23日はオリンピックデーと位置付けられ、世界的にオリンピックムーブメントを普及啓発する事業が展開されている。日本国内においては一般市民がオリンピアンと共に参加するジョギング等を中心としたプログラムを全国9会場で開催するとともに、オリンピックコンサートを開催しオリンピックムーブメントの推進を図った。

オリンピックデーラン	大阪大会	6月13日	2,029名
	喜多方大会	7月10日	1,432名
	土別大会	9月12日	1,459名
	青森大会	9月19日	802名
	神戸大会	10月24日	1,541名
	長野大会	10月31日	1,632名
	ひたちなか大会	11月14日	1,957名
	東京大会	11月21日	2,216名
	和歌山大会	1月9日	802名
オリンピックコンサート	東京	6月19日	3,072名





2. 予想される事業実施効果

ア. 広報出版情報事業

JOCホームページの更新による新しい情報提供により即座に国民の需要に応じることが出来るとともに、スポーツを通じて世界平和に貢献するオリンピックムーブメントがより一層推進されるものと期待できる。

イ. 第16回アジア競技大会選手団派遣事業

大会を通じて国際友好親善に尽くしたことが我が国のスポーツ振興に寄与するものと期待される。また、行動規範の遵守や競技ルールの理解等の国を代表することへの大切さを再認識することができた。

ウ. 第7回アジア冬季競技大会選手団派遣事業

2014年にロシア・ソチで開催される第22回オリンピック冬季競技大会等を始めとした国際大会での国際競技力の向上並びに国際友好親善への尽力に向けて貴重な国際大会の場となるとともに、我が国のスポーツの振興に寄与した。

エ. 第25回ユニバーシアード冬季競技大会選手団派遣事業

2014年にロシア・ソチで開催される第22回オリンピック冬季競技大会等を始めとした国際大会での活躍が期待される次代の選手にとり、国際競技力の向上並びに国際友好親善への尽力に向けて貴重な国際大会の場となるとともに、我が国のスポーツの振興に寄与した。

オ. 第1回ユースオリンピック競技大会選手団派遣事業

大会を通じて、行動規範を遵守し、文化交流を実施することにより、国際友好親善に尽くしたことが我が国のスポーツ振興に寄与するものと期待される。

カ. オリンピックデー記念事業

オリンピックデーラン大会、オリンピックコンサートのようにスポーツやオリンピックを身近に感じることができる機会を多く提供することによって、スポーツを通じて世界平和に貢献するオリンピックムーブメントがより一層推進されるものと期待できる。

キ. オリンピックムーブメント推進ツール作成事業

様々な機会を利用して、オリンピックの基本理念、本会の取り組んでいる諸活動を広く紹介することで、更にスポーツの持つ素晴らしさ、オリンピックの意義を伝え、オリンピックムーブメントを推進することが期待される。

3. 本事業により作成した印刷物等

イ) 第16回アジア競技大会選手団派遣事業

ハンドブック・名簿（和文） 5,100部（関係競技団体、選手団、大会関係者）

ハンドブック・名簿（英文） 100部（海外国内オリンピック委員会、メディア）

ロ) 第7回アジア冬季競技大会選手団派遣事業

ハンドブック・名簿（和文） 1,200部（関係競技団体、選手団、大会関係者）

ハンドブック・名簿（英文） 100部（海外国内オリンピック委員会、メディア）

ハ) 第25回ユニバーシアード冬季競技大会選手団派遣事業

ハンドブック・名簿（和文） 1,200部（関係競技団体、選手団、大会関係者）

ハンドブック・名簿（英文） 100部（海外国内オリンピック委員会、メディア）

ニ)第1回ユースオリンピック競技大会選手団派遣事業

ハンドブック・名簿（和文） 1,200部（関係競技団体、選手団、大会関係者）

ハンドブック・名簿（英文） 100部（海外国内オリンピック委員会、メディア）

ホ)オリンピックムーブメント推進ツール作成事業

パンフレット 40,000部（オリンピックデーラン、オリンピックコンサート参加者等）

カレンダー 5,000部（関係競技団体、オリンピック強化指定選手等）

4. 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 公益財団法人 日本オリンピック委員会 （ニホンオリンピックイイんカイ）

住所： 150-8050

東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館

代表者： 会長 竹田 恆和（タケダ ツネカズ）

担当部署： 総務部（ソウムブ）

担当者名： 主事 安達 和重（アダチ カズシゲ）

電話番号： 03-3481-2233

F A X : 03-3481-0977

E-mail : k-adachi@joc.or.jp

U R L : <http://www.joc.or.jp>